

生徒自身で企業を決めインターンシップを実施 80社以上で

2023年9月18日 九州版

カテゴリ：その他教育活動



福岡県立宇美商業高等学校



宇美商業高等学校（糟屋郡宇美町・山本美加校長）では、コロナ禍で中止していたインターンシップを4年ぶりに再開した。生徒たちは8月1日（火）から4日（金）までの間の2日間に受け入れ企業にて実施した。

「決められるのではなく、自分で決める」という生徒の主体性を重視する同校の方針により、インターンシップ先の企業についても学校が指定するのではなく、生徒が自分で決めるよう変更した結果、本年度は、これまでの約2倍となる80社強の企業等が受け入れを快諾してくれた。

これにより「LINE Fukuoka(株)」など普段よく耳にする企業はもとより、生徒自身が通っていた体操教室や美容院そして税理士事務所など、自分が働く姿をより明確にイメージできるような企業が多く、受け入れ先の業種も幅広いものとなった。

また、従来は就職を希望する生徒だけがインターンシップを行っていたが、「高校生である今の自分たちには、働く上で色々足りないところがある。今の自分に足りないものを探しに行こう。そして見つけたものを残りの高校生活で目標にして取り組んでいこう」という狙いから、今回は進学希望生徒も含め全生徒が参加した。

